

保育所 愛光幼稚園 2022 年度 事業報告

1 総括

園の保育理念である「謙遜・献身・愛」に基づき、一人ひとりの個性を大切に適切な環境を構成し、心身共に健やかな人間性の基礎を培うことができるよう取り組んだ。

運営面では、前年度に引き続き 2022 年度も新型コロナウイルス感染対策に全職員で取り組む。健康管理、消毒、換気、行事の縮小及び人数の分散化など必要な対策をとる一方、コロナ禍においても豊かな経験の積み重ねができるよう保育活動の充実を図った。

経営面では、4 月から定員充足率 100%で始まり、園児数の増加や 0 歳児の入園が順調に進んだことで安定した経営を行うことができた。また年度途中の派遣保育士の雇用で必要な保育士数を確保することができた。職員数の安定的な確保は必須である為、引き続き重点目標として取り組んでいく。

2 主な取組とその評価

(1)新型コロナウイルス感染症対策

- 「保育所における感染症ガイドライン」等を用いて予防策を検討し、基本対策として消毒・換気の徹底、園児の複数回の検温、職員の出退勤時の検温、行事内容の見直しと人数の分散化などの対策を講じた。
- 前年度の実践と評価をふまえ、基本対策以外の詳細な対策や職員や園児の行動基準を検討、全職員に周知の上実施した。
- 園内のコロナ感染状況については保護者に随時情報提供し、それぞれの家庭の判断と対策がとれるようにした。
- 職員に抗原検査キットを用いた検査を適宜行うことで感染の早期発見に努めた。
- 7 月以降の第 7 波により園児 35 名、職員 7 名、11 月以降の第 8 波は園児 16 名、職員 2 名が感染する。保育所は原則開園となった為、職員一丸となり協力体制をとりながら事業を継続する。
- 5 類引き下げ後も基本的な感染対策はおさえつつ臨機応変に対応していく。

重点目標	評価	実績等
新型コロナウイルス感染症対策	○	・基本対策及び詳細な予防対策を検討、職員や保護者に周知しながら感染症対策を講じた ・職員に抗原検査キットを用いた検査を適宜行うことで感染を早期に発見した事例があった ・園内の感染者が増加した時期も職員の協力体制のもと業務に支障がでることなく保育を継続することができた

◎達成できた、○ある程度は達成できた、△（あまり）達成できなかった（以下同様）

（２）ICT の本格導入と業務省力化

- ４月から ICT を本格運用する。登降園や出欠管理、園内の職員連絡や記録の共有等がネットワーク内でできるようになり、保護者の利便性だけでなく職員の業務省力化にもつながった。
- 保護者との間でペーパーレス化がさらに進み、メールでのやりとりが主になる。
- 各クラスにパソコン、デジタルカメラを配置し、書類作成や保育の可視化をねらいとしたドキュメンテーション作りが行いやすい環境を整えた。
- 全クラス複数担任制をとり、特に年長児担任の負担感軽減に努めた。
- ノーコンタクトタイムは前年度に比べ時間を確保することができたが、休憩時間の安定的確保は担当クラスによってまだ偏りがある。引き続き課題として取り組んでいく。

重点目標	評価	実績等
業務省力化	○	・ICT の本格運用開始 ・メール配信によるペーパーレス化のさらなる推進 ・全クラス複数担任によるチーム保育 ・全クラスにパソコン、デジタルカメラを１台ずつ配置することによる業務効率化 ・ノーコンタクトタイムの導入は進んだが休憩時間の安定的確保に向けた仕組みづくりは思うように進まなかった

（３）保育所３園合同による採用活動

- 保育所３園合同で求人票を統一し、本部事務局と共に 2023 年度の新規採用に向けた求人活動を一体となって行う。熊本県内の全養成校訪問や就職フェアへの参加、10 月、12 月の２度の３園合同採用試験を経て３園とも新規採用者を確保することができた。
- 保育実習から就職につながる事が理想的であり、採用のミスマッチを防ぐ為にも実習生の受け入れについて積極的に PR を行っていく。

重点目標	評価	実績等
採用活動	○	・ 保育所 3 園と本部事務局で連携をとり、求人票を携え熊本県内の全養成校を訪問 ・ 就職フェアへの参加 ・ 3 園合同採用試験の実施

(4)園内研修の工夫

- 神水教会牧師による園内研修(聖書会)の他に、乳児保育、幼児教育、保健衛生・安全対策、障がい児保育、保護者支援・子育て支援、食育・アレルギーなど処遇改善の各分野に応じた園内研修や委員会をリーダーが主体となり計画し、ワーク形式や救急救命など実践的な研修も織り交ぜながら実施した。事故防止委員会ではヒヤリハット、事故報告書を半年ごとに振り返り改善できているか検証するなど課題に対し PDS サイクルが回せるよう試みが、検証後も同じようなヒヤリハットが起きた事例もあり、一体感をもった危機管理意識の上が必要である。全職員参加の園内研修を増やすなど更なる充実化を図っていく。

重点目標	評価	実績等
園内研修の工夫	△	・ 毎月第 2 水曜日に神水教会牧師を招き聖書会を行う 今後もキリスト教保育について職員の理解を深めていくことが必要である ・ 処遇改善の各分野に応じた園内研修や委員会をリーダーの職員が計画し、月に 1 回程度実施することができた ・ ヒヤリハット、事故記録の内容を半年ごとに集計し改善がなされているかを検証するが、うまく機能しない面もあった

3 サービスの利用状況

- 2022 年度は定員数の 90 名から始まり前半は前年度比で少ない状況であったが、3 月には前年度を上回る充足率を達成することができた。派遣保育士を雇用したことで年度後半に必要な職員数が確保でき、園児の入所を計画的に進めることができたことが主な要因である。

(月初の人数)

定員 90 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間 平均数
0 歳児	5	6	8	10	10	13	13	13	13	14	14	14	11
1 歳児	15	16	16	16	16	15	15	15	16	16	16	16	15.6
2 歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	17.1
3 歳児	18	18	18	18	18	17	19	19	19	19	19	20	18.6
4 歳児	17	17	16	17	17	17	17	18	18	18	18	18	17.3
5 歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
合計	90	92	93	96	96	97	99	100	101	102	102	104	97.8
昨年比	-2	-3	-4	-2	-3	-2	±0	+1	+1	±0	+0	+1	
稼働率	100%	102%	103%	107%	107%	108%	110%	111%	112%	113%	114%	116%	109%

4 苦情対応の状況

◇2022 年度苦情解決体制

苦情解決責任者	下田幸子（愛光幼児園園長）
苦情受付責任者	宮原美保（愛光幼児園主任保育士）
苦情解決第三者委員	大塚清美（託麻原校区社会福祉協議会 会計） 寺本 晟（神水幼稚園元園長）

- 年間苦情件数は 3 件(子どもの怪我 1 件 職員の対応 1 件 園内設備 1 件)であったが 3 件とも解決済みである。第三者委員に直接提出された案件はなかった。
- 苦情解決第三者委員会については 6 月は対面で行い、11 月は書面にて報告した。
 - ・子どもの怪我 1 件
年長児同士のトラブルで顔をひっかかれる怪我をする。保護者には状況を詳細に報告するとともに謝罪。また改善策についても報告する。
 - ・職員の対応 1 件
 - ・職員から荷物を渡された際、雑に渡された気がして悲しい気分になったと保護者から連絡がある。当該職員に確認したところ慌てていて対応が雑になったかもしれないとのことだった為、状況を詳しく説明し謝罪する。保護者対応のあり方についてすぐに全職員で確認し共有、その旨も報告する。
 - ・園内設備 1 件
職員の顔と名前を載せた一覧表のボードを通年掲示できないか、と意見箱に投書あり。職員と協議し、対応策を全保護者に配信し説明する。

5 主な行事

○ 活動と行事

月	日	行事	付記
4	2	進級礼拝	在園児の進級を祝い礼拝をする
	11	合同礼拝	毎週月曜日に 3～5 歳児合同で礼拝をおこなう。第 1 月曜日は牧師先生をお招きして礼拝をする
	18	イースター礼拝	牧師先生をお招きして礼拝を行い、各クラスでたまごカード探しをする
	20	ロアッソサッカー教室始まり	4,5 歳児が渡鹿公園にて月に 1 回外部講師の指導のもとサッカー教室（運動遊び、ゲーム遊び）を行う
	21	誕生会・入園お祝い会	毎月の誕生者を祝い、新入園児の紹介を行う定例行事を行う
	26,28	内科検診	未満児、以上児と 2 日に分けて内科健診を行う
	27	避難訓練	主に毎月第 4 火曜に計画に沿って行う
5	12	音楽リズム教室始まり	外部講師の指導のもと、3～5 歳児が月に 1 回音楽リズムあそびする
6	1	歯科検診	全園児の歯科検診を行う
	4	第一回愛光会役員会	三役決めや保護者会の活動内容について話し合う
	7	ゆり、ひかり組歳児保育参観クラス懇談会	3 歳児, 5 歳児の保育参観とクラス懇談会を行う
	13	花の日礼拝 訪問	礼拝後花束にカードを添えて、地域のお世話になっている方へ届けに行く
	15	プール開き	水の恵みに感謝し安全に遊べるよう礼拝をする
	16	第三者委員会	第三者委員の 2 名に園の状況を報告し助言を頂く
	21	ばら、すみれ組保育参観クラス懇談会	2 歳児, 4 歳児の保育参観とクラス懇談会を行う
7	7	七夕のつどい	各クラスで七夕にちなんだ活動をする
	22	夏祭り(愛光まつり)	コロナウイルス対策により日中に職員と園児のみで行う
9		プール納め	安全に水あそびができたことを感謝し礼拝をする
10	1	運動会	3,4,5 歳児が大江小学校体育館にて運動会を行う
	6, 7	内科検診	未満児、以上児と 2 日に分けて内科健診を行う
	14	ひかり組オータムチャレンジ	5 歳児 18 名が参加し、園で夜まで過ごす
	19	芋ほり遠足	3,4,5 歳児が大型バスで早田農園まで芋ほり遠足に行く

	27	ばら組ミニ運動会	2歳児が園内にて保育参加形式でミニ運動会を行う
		校区高齢者と園児のふれあい	コロナウイルス感染症拡大防止対策の為中止する
11	11	ひかり組園外保育	5歳児がプラネタリウム見学に博物館に出かける
	14	幼児祝福式	子ども達の成長を喜び、牧師先生の祝福をうける
	14	第三者委員会	第三者委員の2名に書面にて園の状況を報告する
	15	たんぽぽ組・もも組 ふれあい運動会	0,1歳児が園内にて保育参加形式でミニ運動会を行う
	19	第二回愛光会役員会	行事や活動の報告、今後の予定について話し合う
	22	収穫感謝礼拝・訪問	家庭より果物・野菜を持ち寄り感謝の礼拝をし、地域のお世話になっている方へ届けに行く
	24	保育所ボランティアの日	5歳児が参加 三角公園清掃奉仕する
12	17	愛光幼稚園クリスマス	牧師先生と共に礼拝を守り、お祝い会をする
		同窓会クリスマス	コロナウイルス感染症拡大防止対策の為中止する
	20	交通安全教室	熊本市生活安全課の方から交通安全の話を聞いたり、実際に横断歩道の渡り方の指導を受ける
1	10	新年礼拝	新しい年を迎えられたことに感謝し、礼拝を守る
2	3	豆まき	各クラスで節分の豆まきをする
	9	創立記念礼拝	先人のお働きに感謝し礼拝をする
	18	生活発表会	一部（0,1歳児）二部（2,4歳児）三部（3,5歳児）に分けて行い、育ちの姿を保護者に見てもらう
	20	神水子ども礼拝	神水教会に行き、ひかり幼稚園の年長児と共に礼拝をする
	25	第三回愛光会役員会	行事や活動の報告、並びに今後の予定について話し合う
3	3	ひなまつりのつどい	各クラスでひなまつりにちなんだ活動をする
	9	ロアッソキッズキャラバン	3歳児がサッカー教室を体験する
	10	卒園記念遠足	5歳児が JR に乗り三角（食と農の体験塾）まで遠足に出かける
	14	幼年消防修了式 避難訓練 総合防火訓練	4,5歳児が幼年消防クラブの1年間の活動を修了する 火災避難訓練や消火器訓練を行う
	16	お別れ会とお別れバイキング	全園児で集まり、ひかり組の卒園をお祝いする
	18	卒園式	5歳児 18名が卒園 皆で門出を祝う

6 研修の実施状況

○ 園外研修

WEB 研修が依然として多かったが、対面式の研修も少しずつ増えてきた。それぞれの経験年数や職責に応じてできるだけ参加できるように努めた。

研修区分	研修内容	
法人	慈愛園新任職員研修会	慈愛園職員研修
キリスト教 保育連盟	九州部会保育者研修会	設置者・園長・主任研修会
	秋季保育者研修会	九州部会主任研修会
中央ブロック	5 ブロック合同研修会	給食部会研修会
	中央ブロック主任保育士研修会	
熊本市	給食・食育説明会	人権研修会
	乳児保育研修会	年長児保育担当者研修会
	食品衛生研修会	保健衛生研修会
	食育推進ネットワーク全体研修会	保育所等職員合同研修会
	中央地区合同研修会	保護者支援研修会
	熱中症対策アドバイザー養成講座	発達支援コーディネーター養成研修
熊本県	アレルギー疾患医療従事者研修会	幼稚園等新規採用教員・保育士研修会
	高齢者雇用推進セミナー	
熊本市保育園 連盟	保育研究大会	女性部研修会
	障がい児研修会	新任保育者研修会
	ウインターセミナー	保育の安全研修会
日本保育協会	にっぽ保育セミナー	
託麻原校区	近隣小学校訪問研修	幼小中連携の日
その他	会計研修会	保育オンラインセミナー2022
	明日の保育に役立つワークショップ	社会保険事務講習会
	九州ブロック保育協議会研修会	ルーテル社会福祉協会講演会
	労務研修会	特別支援教育研修会
	保育人財マネジメントフォーラム	BCP (事業継続計画)オンライン研修

○ 園内研修

全職員参加、正規職員のみ参加など主題に応じて参加対象者を選定し実施する。話を聞くだけの研修に偏らないようワーク形式や実践研修も行った。また新たな取り組みとして動画配信の研修を全職員で受講する。今後も日程の工夫や動画配信を活用し、全職員のスキルアップを目指していく。

月日	主題	議題内容
5月	秘密保持(個人情報保護)について	・園内の個人情報の取り扱いや、職員としての秘密保持事項について資料を読みレポート提出する
5月18日	虐待防止委員会	・支援、配慮が必要な保護者について等の共有や、子どもの人権・虐待防止等について学ぶ
6月2日 6月3日	AED講習	・水あそび前に救急救命研修(AED 使用法を含めたシナリオ方式)を看護師の指導のもと行う
6月10日	水あそびについて	・プールあそび、水あそびに際しての安全面や手順について確認する
7月1日	障がい児保育	・個別の事例について話し合い、支援のあり方について検討する
7月6日	感染症対策委員会	・感染症が流行した場合の対策について学ぶ
8月9日	障がい児保育	・支援が必要な子どもについての理解を深める
8月24日	食中毒について	・食中毒について資料に基づいて説明をうけ学ぶ
8月27日	環境構成について (オンライン)	・子どものとも社のオンライン動画研修を利用し、各自で動画視聴後、レポートを提出する
9月1日	乳児保育について	・職員へのアンケートをもとに、食事・排泄・着脱などの支援の仕方について確認、共有を図る
10月20日	障がい児保育	・個別のケースの中から、検討会で取り上げるケースを決める
11月7日	記録の書き方について	・保育記録の書き方について検討し学ぶ
11月29日	虐待防止委員会	・保護者の虐待、保育者の虐待および子どもの人権について学ぶ
1月7日	ケース検討会	・個別の事例について話し合い、支援の在り方について検討する

2月28日 3月1日 3月3日	嘔吐処理について	・3日間に分けて職員が参加し、看護師の指導のもと嘔吐処理の仕方について実践的な研修を行う
3月22日	事故防止委員会	・ヒヤリハットや事故記録簿の事例について検証し改善されたかを検討する
3月28日	子育て支援について	・各クラスの支援が必要な保護者について確認、共有を図ると共に対応について学ぶ
7月1日 10月7日 10月21日 2月7日	ケース研究	・支援が必要な子どもについて、臨床発達心理士の佐澤智恵子氏からの助言と援助について学ぶ

7 施設整備等

本年度は以下の施設整備を行った。施設の建て替えから10年が経ち、経年劣化による修繕や更新が必要な箇所が増えてきている。今後の課題として遊具の撤去や保育室の照明設備の更新などがあり、計画的に進めていく。

○ 補助事業

- ・避難用経路防火人工芝の購入 160,000円

施設機能強化推進加算(10/10加算)

○ 施設整備

(修理・修繕)

- ・エレベーター部品更新(停電時着床装置、ブレーキスイッチ、位置表示器、停電灯用バッテリーの4ヶ所) 347,000円

(固定資産取得)

- ・ゴミ収集庫 106,700円
- ・屋外カメラ 132,000円
- ・パソコン(給与大臣)更新 150,000円
- ・組み立て式舞台の追加購入 550,000円